Polypropylene+GF15 Rod,有限会社ティークラフト,R18-XX-YY-ZZ

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

- 製品名: Polypropylene + GF15 Rod（ポリプロピレン・グラスファイバー15%入り溶接ロッド）
- 製品品番: R18-02-03-BK、R18-XX-YY-ZZ 他
- 推奨用途: プラスチック溶接機を使用した自動車バンパー等のポリプロピレン樹脂部品の修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- 担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。加熱時に発生する蒸気・フュームが上気道を刺激するおそれあり。ガラス繊維が露出・飛散する場合の物理的刺激に注意）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。加熱・燃焼時は刺激性の煙やガスが発生します。また、ガラス繊維を含有するため、切削・研磨時に皮膚や目を刺激する場合があります。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。溶接時に煙霧を吸い込まないこと。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 混合物
- 成分情報:

- プロピレン・エチレン共重合体: 含有量 85 〜 90%、CAS 番号: 9010-79-1
- グラスファイバー（ガラス繊維）: 含有量 10 〜 15%、CAS 番号: 65977-17-3

4. 応急処置

- 目に入った場合: 溶接中の蒸気や切削粉による刺激が生じた場合は、換気の良い場所に移動し、必要に応じて清浄な水で 15 分以上洗い流すこと。刺激が続く場合は医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 常温の製品では特になし。高温の溶融材料が皮膚に付着した場合は、直ちに冷水等で急速に冷やすこと。石鹸と水で洗い流し、付着物を無理に剥がそうとせず、医師の診察を受けること。ガラス繊維による物理的刺激を感じた場合はこすらず流水で洗い流すこと。
- 吸入した場合: 溶接時の蒸気や煙霧を吸入して気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、休息させること。症状が続く場合は医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合: 物理的形態から通常の経口摂取は想定されない。万が一飲み込んだ場合は、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 水スプレー（水噴霧）、乾燥粉末、泡、または二酸化炭素（CO2）。
- 消火手順: 燃焼により有害な分解生成物が生成される場合があるため、消火作業時は自給式呼吸器（SCBA）および完全防護服を着用して風上から作業を行うこと。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 固体のロッド状であるため特別な予防措置は不要。液体状で漏出した場合は冷却して固化させ、回収して適切な容器に入れ、適用される規制に従って廃棄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 子供の手の届かないところに保管すること。業務用のみとし、一般への販売を意図していない。グラスファイバーが材料表面から突出し、皮膚や目を刺激す

る場合があるため取り扱いに注意すること。プラスチック溶接中に放出される蒸気や煙を吸い込まないこと。

- 保管: 涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。火気や直射日光を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし
- 設備対策: 通常の作業では特別な換気は不要であるが、運転条件によって高濃度の気体やフューム、粉塵が生じる場合は、局所排気装置等の工学的管理手段を使用すること。
- 保護具:
    - 呼吸用保護具: 通常の作業では不要。換気が不十分な場所や、加熱・溶融時に煙や臭気が発生する場合、または切削・研磨時に粉塵が発生する場合は、国家検定合格品（または NIOSH 認定）の防塵・防毒マスクを着用すること。
    - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋を着用すること。
    - 眼・面の保護具: 溶接時や切削・研磨時のガラス繊維・粉塵の飛散による眼への刺激を防ぐため、ゴーグルまたはサイドシールド付き安全眼鏡を着用すること。
- 衛生対策: 食事、喫煙、または洗面所の使用前に手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 黒色樹脂製ロッド（直径約 1/8 インチ / 約 3mm 等）
- におい: 無臭
- pH: 決まっていない
- 比重: 0.88 〜 0.92
- 溶解度: 水に不溶

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 通常の保管および取扱い条件下で安定。
- 避けるべき条件: すべてのプラスチック材料は静電気を発生する可能性があるため、爆発性混合物の周囲で使用しないこと。過度の熱。

- 混触危険物質: 強力な酸化剤との接触を避けること。
- 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。
- 危険な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、ケトン、アクロレイン、アルデヒド、未確認有機化合物。

11. 有害性情報

- 毒性情報: 本製品としての毒性試験データはない。グラスファイバーを含有しているため、切削・研磨時の粉塵や露出した繊維が皮膚や眼、上気道に物理的な刺激を与えるおそれがある。高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。

12. 環境影響情報

- 生態毒性: 水に不溶であるため、水生生物への影響は低いと予想される。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: 可能であればリサイクルする。廃棄する場合は、地域の環境当局や自治体の規制（日本の廃棄物処理法等）に従って適切に処分すること。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（国連分類上の危険物としては規制されていません）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。（※グラスファイバー等は高分子マトリックス中に固定されているため、通常の固形状使用では対象外となります）
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:

- パーツ供給元提供 SDS
- GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
- JIS Z 7253 : 2019
- JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。